

The World's Greatest Motor Culture Magazine

サンロク 2016年4月号臨時増刊
「モーターヘッドVol.19」 2016年3月20日発売

モーターヘッド

MOTORHEAD

San-el shops
1050 JPY

19

第2特集

ULTIMATE
SUPER
CARS

特集: GT-R.



速さに効く
ドレスシューズ。



Text : 中三川大地 Daichi Nakamigawa
Photo : 小林邦寿 Kunihi Kobayashi

テックアート製のエアロパーツとハイパーフォージドHF-LC5が絶妙に似合う。H&Rのスポーツプリングによって若干ながらローダウンされた佇まいも見事だ。タイヤサイズはF: 245/30、R: 325/25の20インチとなる。



時 代は991型、それも過給器を伴うダウンサイジングを遂げた新世代の話で持ちきりである。しかし、時間軸を超越した存在感が宿るのは、いつの時代の991も同じ。今、最新型よりもポルシェ濃度が色濃いと囁かれながら、最新型と遜色のない信頼耐久性を有する絶妙な997型をサリと転がしていたら相当にオシャレである。

それもテックアート製のボディキットに身を包んだカレラスがいい。ポルシェ好きを唸らせる通好みな存在でありながら、かといって一見さんお断りといった敷居の高さも感じずに普段使いできる。そんな稀有な存在をより際立たせたいのなら、やはり足もとにこだわらなくなる。ホイールまでテックアート製とすれば問題はない。が、そこは自分なりの個性を演出したい。そこで気鋭の国産鍛造ホイールメーカーたるハイパーフォージドのお出ましとなる。

純白のボディにコーディネートされたのはハイパーフォージドの大黒柱として多種多様なメイクスにマッチするHF-LC5だ。今回は、前後ともに20インチでカッチリと足もとを支えている。ディスク面をライトブロンズ系のブラッシュドアナダイズドとしてアルミの質感を巧みに残したまま、その鋭利なスポークを柔らかな991の肉体と調和させている。最新型の存在感に負けることなく、むしろ「俺はこのパッケージが好きだからこそ乗っているんだ」というような堂々とした様子が、素直にカッコいい。ポルシェの底力と、そしてハイパーフォージドの魅力をあらためて感じる。

もちろん、走る上での犠牲も皆無だ。むしろがっちりとした剛性感を感じ、実際には軽量性能にも優れるために、その走りは見違える。単なるインチャップのためのドレスシューズと思うなこれ、これは歴とした機能部品だ。チューニングパーツとしてのハイパーフォージドなのである。テックアートだって間違いない。このコラボは喜ぶはずである。📷

Hyper Forged HF-LC5 911CarreraS

HyperForged HF-LC5
F=8.5x20 R=12.0x20
ディスク: LightBronze Brushed Anodized
アウターリム: Brushed Anodized
インナーリム: Anodized Black